

「佐渡島の金山」のユネスコへの推薦に関する決議

「佐渡島の金山」は、海外との交流に制約のあった江戸時代において、国家の管理・運営の下、西欧とは異なる独自の進化を遂げた鉱山であり、人類の産業史を考える上で非常に重要な世界的にも希有な文化遺産であります。

このような中、昨年12月28日には、文化審議会から世界遺産の推薦候補として価値を認める答申が出されたところであり、ますます登録への期待が高まってきました。

これまで新潟県並びに佐渡市などの関係者の皆様は、佐渡金銀山の世界文化遺産登録を目指して積極的な運動を展開されるなど、長年にわたり様々な取組を進めてこられました。

「佐渡島の金山」が世界遺産登録されることは、これまで取り組んでこられた方々の悲願であり、多くの県民が心待ちにしています。

新潟県市長会及び新潟県町村会の会員市町村では、それぞれに歴史や文化資産を活かしたまちづくりに取り組んでおり、両会としても世界遺産登録は、喜ばしいことであります。

よって、新潟県市長会と新潟県町村会は、登録実現に向け速やかにユネスコへの推薦の決定を強く求めるものであり、新潟県知事はじめ関係者の取組を、会員一致協力して力強く応援してまいります。

以上、決議する。

令和4年1月13日

新潟県市長会
新潟県町村会